



住吉小学校



正門より玄関を望む

(令和6年5月1日現在)

所在地	〒558-0052 住吉区帝塚山西4-1-35		
電話	06-6672-6001	FAX	06-6672-6103
URL	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e731661		
校長名	岡崎 鉄彦		
児童数	338名	教職員数	48名
学級数	18学級(うち特別支援学級6)	集団登下校	なし
標準服	なし		

教育目標

人間尊重の教育を基盤とし、「生き抜く力」を育む教育活動を推進する

校長メッセージ

本校は、住吉大社がある住吉区北西部に位置し、今年で創立117年を迎える歴史と伝統を有する学校です。人間尊重の教育を基盤とし、「確かな学び」「支え合う仲間」「地域との協働」を柱に、教育活動に取り組んでいます。知識・技能はもちろんのこと、自ら課題を見付け、自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を引き出すとともに、「学びに向かう力」の育成を重視した学びに力を入れています。また、安心して自分本来の姿を表現できる集団の中でこそ、豊かな学びが実現できると考え、互いにちがいを認め合い、高め合える集団育成に取り組んでいます。さらに、未来を担う子どもたちを中心に、学校・家庭・地域が連携し、互いに協力し合いながら児童の健全育成に努めています。

学校協議会会長メッセージ

住吉小学校学校協議会では、一人一人の子どもたちが健やかに成長できるよう、学校に協力しています。そのため、すべての子どもを大切にしたいという保護者や地域住民の願いが教育活動に反映できるよう、学校行事にも積極的に参加しています。特に、登校時における子どもの見守り活動には力を入れています。子どもたちの「おはようございます」「ありがとうございます」という挨拶には、こちらも元気をもらっています。また、学校の教育活動や子どもの様子についても、積極的に地域に発信し、地域の方にも学校に関心をもってもらえるよう努めています。子どもは地域の宝です。学校に対するみなさんのご支援とご協力をお願いいたします。

▶▶ 運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

学校生活アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」の項目で肯定的な割合を90%以上にする。

学校生活アンケートにおいて、「『自分』『友だち』を大切にしていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。

小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の5割以上にする。(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)

学校生活アンケートの「自分の地域を大切にしている」の項目で肯定的な意見を90%以上にする。

未来を切り拓く住吉小学校の教育

*本校ホームページもご参照ください。

確かな学び

○全員がわかる・できる授業づくり

全員参加のわかる・できる授業をめざし、令和2年度までの4年間、算数科を中心に授業のユニバーサルデザイン化に、令和4年度より算数科における研究・実践に全教員で取り組んでいます。

○モジュール学習(英語活動・朝学習)

火曜日、水曜日の8時30分から8時45分までの15分間を「モジュールタイム」として外国語活動・英語を中心に学習を行っています。年間を通じて、継続的に行うことで、学習に対する意欲の向上を図っています。

○個に応じた指導

本校では、障がいのあるなしに関わらず、みんなで共に学ぶインクルーシブ教育を推進しています。学級担任と学年担当や特別支援サポーター、学びサポーターが連携しながら、個に応じた指導の充実に努めています。

支え合う仲間

○協働的な学び

日々の授業において、協働的に学ぶことを大切にしています。ペア・トークやグループ学習による課題解決に向けた「学び合い」、思考ツールを活用した交流活動での考えの「練り合い」など、「主体的・対話的で深い学び」をめざしています。

○学年・学級集団育成

学級・学年での活動だけでなく、様々な学校行事を通して仲間づくりに取り組んでいます。「自分を大切にする心」「友だちを大切にする心」を育むために児童の発達段階に応じた人権学習に取り組んでいます。

○「にじいろ班」活動

1年生から6年生で縦割り班を編成し、異学年集団による児童集会や遠足、お昼さん活動など様々な活動を行うことで、上級生は下級生のお世話をする思いやりの心、下級生は上級生に対する感謝とあこがれの気持ちを育んでいます。

地域との協働

○ブックハウスの活動

地域・一般の方も利用できる図書館(ブックハウス)は、司書や地域・PTAのボランティアの方の協力により、毎日開館しています。きれいに整備され充実したブックハウスには、開館時間になると、本を読むことが好きなたくさん子どもたちが集まります。

○地域との交流

生涯学習ルーム受講生のみなさんと年間回数交流する場面を設け、絵手紙や工作などを教えてもらっています。また、保育所・幼稚園とは生活科の授業や給食、中学校とは授業・部活動体験などで交流を行っています。

○児童の安全を支える「見守り隊」

地域には見守り隊が組織されており、児童の登校を見守ってくださっています。PTAの安全サポーターの方々も当番で登下校を見守ってくださっており、たくさんの方が児童の安全を支えてくださっています。

▶▶ 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状(調査対象:令和5年度の小学6年生)

【平均正答率(%)】

国語	算数
63	57

【結果の概要】

国語では大阪市平均より若干低い平均63ポイント(大阪府66、全国67.2)であった。算数科では、大阪市平均を下回る57ポイント(大阪府62、全国62.5)で苦手意識がうかがえます。質問紙調査では、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対して肯定的な回答が全国平均を上回り、基本的な生活リズムの定着がみられます。

▶▶ 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(調査対象:令和5年度の小学5年生)

【種目別平均値】

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点(点)
男子	15.82	18.55	33.05	35.64	30.36	9.60	146.05	21.14	49.23
女子	14.63	18.50	35.38	35.39	28.47	9.62	137.41	12.59	51.35

【結果の概要】

本校児童は、男子ソフトボール投げでは全国平均を0.62ポイント上回り、女子では上体起こしが0.45ポイント、50m走が0.09ポイント上回りました。

アンケートの「運動やスポーツが好き」という回答も全国平均より低かったが、「1週間の総運動時間が60分未満」の児童の割合は、全国平均より低く、特に男子は全国平均の約半分と運動習慣は比較的良好でした。